



相ノ木っ子だよ



令和4年度
11月号
上市町立
相ノ木小学校

学校に届いた一通の葉書き

「あ、これだ」「うわー、すごい」「きれいだね」

子供たちの歓声が廊下から聞こえてきました。職員室前に掲げた額入りの大きな風景写真に見入る子供たちの姿がありました。その風景写真とはいったい・・・。

先月、わたし宛に一通の葉書きが届きました。滑川市在中の写真愛好家上田邦子さんからで、宛名面には、「この葉書きの写真は、2021年12月10日の早朝に撮影しました。水面に映る劔岳を求めて数年間あちこち探し、ついに相ノ木保育園前の水田にたどり着きました。おそらくお住まいの方々も日の出前の景色はあまりご覧になっていないと思います。こんな素晴らしいところに住んでいるんだと子供たちに知ってほしいですし、機会があったら早起きして見てほしいと思います」といった文が添えてありました。そこで裏返してみると、日の出直前のピンクとも紫とも形容し難い色に染まった空と劔岳が水面に映る、何とも幻想的な写真が印刷されていました。

その光景があまりにも素晴らしく、上田さんのお気持ちがうれしかったので、昼のテレビ放送で拡大した「逆さ劔岳」を見せながら、送られてきた葉書きについて子供たちに紹介しました。放送室内の広報委員は食い入るように写真を見つめていましたし、遠い教室から子供たちのどよめきが聞こえてきました。翌日上田さんにお礼の電話をかけ、子供たちに紹介したことやとても感動していたこととお話しました。すると、「今年の県展の佳作に入選した作品です。ぜひ学校で飾ってほしい」という思いもよらない提案を上田さんからされることとなります。何度も「よろしいのですか」と確認したのですが、どうしてもということで、後日来校された上田さんから児童代表の6年児童会役員3名が受け取りました。それが、職員室前廊下に掲げた風景写真なのです。保護者の皆さんにもぜひご覧いただきたいと思います。

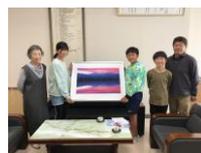
アメリカの詩人・小説家のシルヴィア・プラスは、次の詩を遺しています。

押し寄せる風景に自分の胸が膨らむのを感じた。

大気、山々、木々、そして人々。

わたしは考えた。

「幸福であるとはこのことだ」



四季折々のいろいろな風景を眺めるだけで、わたしたちは幸せな心もちになります。ですから、旅行等で初めて目にする素敵な光景には本当に感動してしまいます。今回出合った景色は、わたしたちが過ごす場所からいつも見ている劔岳なのですが、普段とは違った姿を切り取ったものでした。そんな表情を劔岳が見せてくれることを知り、うれしい気持ちでいっぱいになりました。提供して下さった上田さんには本当に感謝します。また、たまたま偶然その場所にたどり着いたこと、期待通りにいかず諦めて帰ろうとしたら車のバックミラーに写真のような光景が映ったこと、シャッターチャンスは5分程度だったこと等、この写真撮影に関するエピソードを上田さんから聞くことができました。そういった努力や苦勞、偶然性も加わっての素敵な劔岳の姿なんだと改めて感じます。

ふるさとの山に向かい 言うことなし

ふるさとの山は ありがたきかな



これは、石川啄木の短歌です。上田さんは滑川市出身ですが、ずっと横浜で教師をしていて家庭の事情で戻って来られたそうです。だからこそ、故郷の風景というものを再確認することができ、そのよさや表情を切り取ることに熱中されるのではないかと思います。ぜひ相ノ木っ子には、この写真や普段見上げる劔岳から感じるものを心に焼き付けてもらいたいです。そして、故郷の景色や思い出といった自分の原点というものをしっかりもってこれから先力強く羽ばたいてほしいです。



優しさの本質とは？



先月末に就学時健診があり、来年度入学するかわいらしい17名が保護者の方と元気に学校へやってきました。子供たちは、校内を見学しつつ、いろいろな健康診断を受けるわけですが、お家の方と離れてやや心細くなっている子や逆に元気過ぎる子等様々な様子が見られます。そんな健診中の子供たちをお世話するのが、来年度新6年生となる5年生たちです。校医さんの到着状況に合わせて臨機応変に健診箇所を巡ったり、来入児が円滑に健診できるようサポートしたりと、一人一人自分の役割に応じて、活躍してくれました。健診後も子供たちが楽しめるよう折り紙やぬり絵等を一緒に行うなどやさしく交流していました。もちろん学校行事の大事なお手伝いになるわけですが、これは5年生の総合的な学習の時間「あったかハート相ノ木」の一環でもあります。来入児とどんな交流ができるか、どのようにお世話したらよいかを自分たちで考えた上での実践です。健診前にも相ノ木保育園を訪問し、来入児と交流をしてきました。そして今回もなかなか元気な子供たちを相手に苦労もしたでしょうが、そういったお世話を体験することで、自分たちがこれまでの行事等で得た達成感とはまた違った思いを抱くことができたのではないかと思います。ただ、子供たちには、お世話をするこの意味、優しさの本質といったことにも思いを馳せてほしいと考えます。

押しつけがましい優しさよりも
相手を認める心をもつことが大切よ。

これは、僧侶でテレビタレントでもある水無昭善さんの言葉です。人に対して優しくありたいと思うのは、人の常です。しかし、それが自分本位の押しつけであったり、自己満足に終始するものであったりしては、相手にとっての「優しさ」とはならないでしょう。まずは、相手のことをしっかりと認め、相手がどんなことを思っているのかを想像することが大事だと思います。その上で、少しでも相手が心地よくなるよう、自分のできる接し方を真剣に考えることが、本当の優しさではないでしょうか。

マザー・テレサは、次のように言っています。

あなたに出会った人がみな、
最高の気分になれるように、
親切と慈しみを込めて人に接しなさい。
あなたの愛が表情や眼差し、微笑み、言葉にあらわれるようにするのです。



目上の方、幼い子、ずっと仲のよい友達、初めて出会った相手、これから子供たちはいろんな人との出会いを繰り返すでしょう。その時々、相手のことをきちんと見つめられる自分、いつでも優しい表情や言葉を投げかけられる自分であってほしいものです。

行事予定(11月中旬～12月中旬)

- | | | | |
|-----------|--------------------------------|----------|-----------------------|
| 11月18日(金) | 学習発表会
親子下校 15:40 | 12月7日(水) | 保護者懇談会1日目
下校 13:00 |
| 22日(火) | 3年校外学習(魚津消防署)
4年校外学習(吉田科学館) | 8日(木) | 保護者懇談会2日目
下校 13:00 |
| 23日(水) | (祝)勤労感謝の日 | 9日(金) | 保護者懇談会3日目
下校 13:00 |
| 24日(木) | 中学校入学説明会
(保護者のみ) | | |
| 29日(火) | 特別支援学級合同学習会 | | |
| 30日(水) | 避難訓練(不審者対応) | | |

